

# 新たな長野県史編さんに向けた今後の取組について

文化財・生涯学習課

## 1 新たな長野県史の編さん

既存の長野県史で未刊行の戦後現代史を中心とした新たな長野県史の編さんを、令和8年度から開始することを目指す。

◎しあわせ信州創造プラン3.0（2023年度（令和5年度）から2027年度（令和9年度））  
第4編 施策の総合的展開 第2章 3-2  
新たな長野県史の編さんに着手し、長野県の歩みを記録して未来に継承する営みを推進

## 2 編さんに向けた大綱の策定及び有識者懇談会の開催

### （1）新たな長野県史編さん大綱の策定

令和6年度中に県史編さん方針である新たな長野県史編さん大綱を策定する。

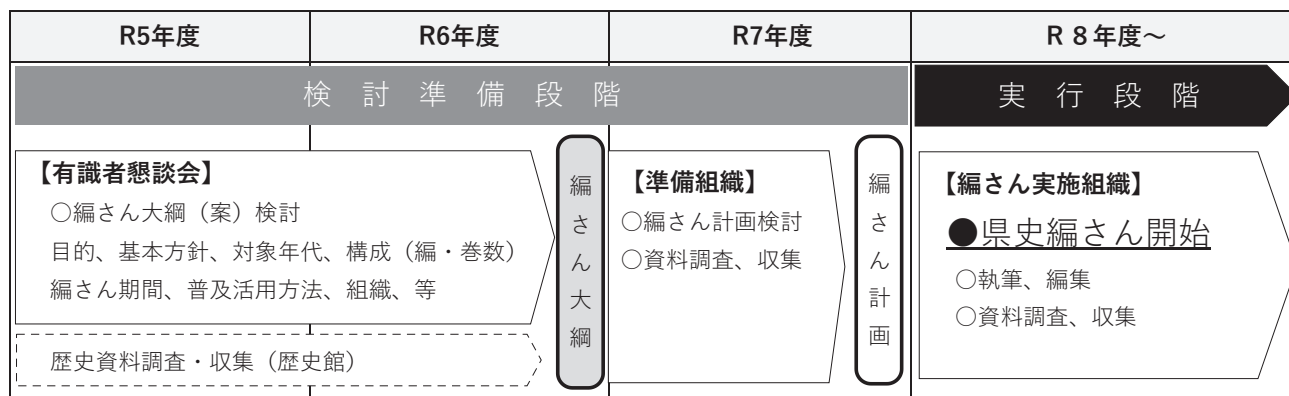
- ・大綱で定める事項

編さんの目的・方針、編さん対象年代、刊行構成、編さん期間、編さん組織体制 等

### （2）新たな長野県史編さんに関する有識者懇談会の開催

大綱を策定するに当たり専門的な知見や幅広い県民意見を反映するため、歴史分野の専門家や各界の有識者、公募県民等から意見を聴く「新たな長野県史編さんに関する有識者懇談会」を令和5年度から6年度に開催する。

### 【県史編さんまでのスケジュール】



### 〈参考〉長野県史に係る現状と課題

#### （1）現県史の概要

- ・刊行数：全38巻70冊（通史編9、資料編45、民俗編14、方言編1、年表1）
- ・対象年代：原始・古代～近代（1945年終戦まで）
- ・編さん期間：昭和43年（1968年）～平成4年（1992年）の24年間

#### （2）課題

- ・戦後現代史の県史が未刊行
- ・近代歴史資料の散逸・滅失の危機、資料調査・収集の停滞
- ・生の証言者、地域の歴史研究者の減少

※ R3.11月県議会において現代史の県史編さん実施の検討等を求める請願採択

## 新たな長野県史編さんに関する有識者懇談会開催要綱

### (目的)

第1 新たな長野県史編さん大綱（以下「大綱」という。）の策定に際して、県が検討する上で有識者等から広く意見を聴取し、参考とするため、新たな長野県史編さんに関する有識者懇談会（以下「懇談会」という。）を開催する。

なお、懇談会は、地方自治法第138条の4第3項の規定による法律又は条令により設置された附属機関ではない。

### (会議事項)

第2 懇談会は、次に事項について意見交換を行う。

ア 新たな長野県史を編さんするに当たっての現状と課題の共有

イ 大綱の策定に向けた検討

ウ その他、大綱の策定に関する必要な事項

### (構成員)

第3 構成員は、学識経験者、歴史団体関係者、市町村行政関係者等のうちから教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

3 必要に応じ、構成員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

### (開催期間)

第3 会議は、令和7年3月31日までの間、開催するものとする。

### (補足)

第4 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関して必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この要綱は、令和5年6月5日から施行する。

新たな長野県史編さんに関する有識者懇談会構成員名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	役 職 等
浅倉 有子	国立大学法人上越教育大学 名誉教授
伊佐治 裕子	松本市教育委員会 教育長
大串 潤児	国立大学法人信州大学 教授
蒲原 みつみ	公募構成員
糸井 裕至	一般財団法人長野経済研究所 調査部部长代理兼上席研究員
倉石 あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員 元跡見学園女子大学教授
清水 恒善	公益社団法人信濃教育会 信濃教育博物館部長
原 良通	信濃史学会 副会長
不破 泰	国立大学法人信州大学 理事・副学長
増田 武美	長野市公文書館 館長
丸山 貢一	信濃毎日新聞株式会社 論説顧問
村井 祐樹	東京大学史料編纂所 准教授
矢島 宏雄	長野県考古学会 副会長
米山 美香	公募構成員